

『子育てサポート Smile』

【ごあいさつ】

長雨が続き、早く梅雨明けが来ないかなあと待ち遠しくなる日々が続きますね。2週間前の前回号でも同じようなことを書いていました。例年以上、長い梅雨ですね。

いよいよ夏休みに入ります。実質55日間の授業日ではありましたが、期間が長かったことで子どもたちも疲れたことと思います。18日間の休みではありますが、心も身体もリフレッシュして、また2学期を迎えてほしいと思います。事故のない夏休みになるようお願いいたします。

【第一学期を振り返って】

- 本当に、ようやく一学期が終了するという感じです。年度末からの臨時休校になり、新学期が始まったかと思えば、市内で感染者が出てしまい、更なる臨時休校になり、結果的に約2ヶ月半の思いの寄らぬ長い春休みになってしまいました。その間、2～3度にわたる登校日が設定され、授業も実施していない中での課題学習。各学年で課題の内容、量とかの検討・準備を重ねながら、あまり負担過重にならないようにとの配慮のもとに行っていました。それでも各ご家庭では、どう対応しているのか、どう課題に取り組ませているのか、戸惑われたと思います。

5月18日(月)、午前中のみという制限の中で授業日として学校が再開されました。当時、校長としては、“数日早いのではないか”という思いでしたが、結果的に、段階的に学校生活に慣れ、“少しでも早く通常の学校生活を取り戻す”という再開の仕方はよかったと考えています。

以降、2ヶ月半の実質的な一学期を、子どもたちも教職員も一気に突っ走ってきたという感があります。正直、子どもたちも教職員も疲れたのではないかと感じています。保護者の皆様も、心配しながら臨時休校中の子ども様子を見守り、学校再開後も、例年とは違う学校生活や行事への対応を含め、お疲れになっていることと推察します。

短い夏休みにはなりますが、家族での生活時間が長く持たれるこの期間を活用し、リフレッシュされることもいいでしょう。現在の状況を理解しながら、今後の「新しい生活様式」への対応等を家族で話し合い、確認し合う時間にしてほしいと思います。

【私たちができることは・・・】

- これまでもお伝えしてきたことですが、このコロナ対策は、長期的に取り組んでいかなければならないことです。例年実施しているいろんな行事や学習活動も従来通りにできないことがとても多くあります。前回号で、「運動会の感染リスクへの対応課題」、「4・5年生の宿泊学習の日帰り体験学習への変更」など、中止ではなく、“できる形で”、“できる範囲で”実施していくという考え方で計画を見直しています。加えて、梅雨明けや残暑の時期を考えての「熱中症防止対策」も欠かすことができません。

今後も、「基本的な感染症対策」や「3密を避けるための対策」を工夫しながら、子どもたちの安全・安心な学習環境を作っていかなければならないと考えています。例えば、6年生の修学旅行をはじめとした学校行事の持ち方、特設部活動の活動の仕方、偏見やイジメ・差別を生まない指導、そして何よりも授業の補充・充実・時数の確保は、不可欠な対応になります。

各ご家庭でも、再度、考え取り組んでほしいことがあります。それは、「毎朝の検温」と「マスク着用」の徹底です。この一学期間でも、子どもたちのマスク着用が100%になった日はありません。忘れてくる子どもが少なくありませんでした。子どもたち自身が自ら「マスク着用」や「手洗い」の習慣を身に付けていくことが必要です。家庭内でもお話しください。

東京をはじめ、近隣県、関西地域、県内の感染者もまた増え始めています。この状況を考えると、私たち一人一人が基本的な感染防止の行動をとることしか感染防止の方法がないと思います。今後とも、保護者の皆様のご理解とご協力をいただきたいと思います。

◎ 学校に対する「質問」、「意見」や「要望」がありましたら、学級担任や担当教職員、教頭または校長へ直接、お気軽にご連絡ください。

須賀川市立西袋第一小学校 【連絡先】 Tel 0248 - 76 -5131 Fax 0248 - 63 -8517

文責 須賀川市立西袋第一小学校長 星田弘美